

2017年9月19日

**プジョー 208 R2、全日本ラリー選手権第7戦で無念のリタイア
～ 首位を走る速さを見せるも、メカニカルトラブルで戦線離脱 ～**

プジョー 208 をベースとしたラリー専用車「208 R2」が、2017年全日本ラリー選手権第7戦「RALLY HOKKAIDO」に参戦いたしました。前戦ラリー洞爺で勝利を挙げた川名賢選手は、ラリー初日に首位を快走していたものの、メカニカルトラブルによりリタイアに終わりました。

第7戦は9月15日(金)～17日(日)にかけて、北海道十勝地方周辺のグラベル路(未舗装路)を舞台に開催されました。プジョー 208 R2 で JN5 クラスを戦う「ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム」の川名選手は、ラリー初日に素晴らしいスピードを披露し、ラリーをリードしました。ところが、SS8 でエンジンのウォーターポンプベルトが石を挟んでしまい切断。オーバーヒート症状により、リタイアとなりました。

プジョー 208 R2 ドライバーのコメント

川名賢選手(ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム) JN5 クラス リタイア

「今回のラリー北海道は長いイベントですし、前半は様子を見つつ、距離の長いステージで勝負をかけようと思っていました。実際、28.75km の長いステージでもマシンはしっかりと応えてくれて、首位で最初のサービスに戻ってくることができました。さらに攻めようと思っていたんですが、SS8 のスタートから 20km 地点でコース上の石を噛んで、ウォーターポンプベルトが切れてしまいました。リタイアという悔しい結果になりましたが、あらためてプジョー 208 R2 の優秀さを実感しています。エンジンはよく回りますし、サスペンションの追従性も素晴らしいです。乗っていてすごく楽しいラリーカーなので、次にドライブできる機会を楽しみにしています」

全日本ラリー選手権第7戦「RALLY HOKKAIDO」リザルト

クラス/クラス順位	ドライバー/コ・ドライバー	車両	合計タイム
JN5/1 位	小濱勇希/馬場雄一	シトロエン DS3 R3-MAX	2:11:28.3
リタイア	川名賢/島津雅彦	プジョー 208 R2	—
リタイア	鷹野健太郎/ヤナ	MINI クーパーS	—



ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム: 島津雅彦選手(左) / 川名賢選手(右)

MOTION & EMOTION

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室
PEUGEOT CITROËN JAPON CO., LTD.

Press contacts

<http://www.peugeot.co.jp>

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室 TEL:03-6412-7362 publicity@peugeot.co.jp

一般からのお問い合わせ先 : プジョーコール TEL:0120-840-240

リリースダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp>

資料・画像ダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp/permitted/document/>

PEUGEOT

顧客へのブランドのコミットメントは、爽快で情熱に満ちたドライビング、個性的なデザイン、そして妥協のない品質を示しています。これらの DNA は、プジョーの全てのモデルに注がれています。世界 160 カ国で 1 万を超える拠点を展開するプジョーは、2015 年世界販売において 4.6%アップの 171 万台に達しました。プジョーは世界へ向けて多彩な商品をもつ確固たるトップブランドを目指し、緻密なデザイン、スピード、そしてエキサイティングなフィーリングを融合しています。1889 年に始まったブランドに息づく自動車の歴史は、本年ダカールラリーにおける 3008 DKR の歴史的な 1-2-3 フィニッシュによって新たな栄誉を獲得いたしました。

MOTION & EMOTION

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室
PEUGEOT CITROËN JAPON CO., LTD.